

環境創造部関係(観光文化課・地域振興課・地域整備課)

問 レンタサイクルの貸出状況、今後のプランニングは。

答 電動アシストを導入し、今後コース設定も考え、PRしていきたい。

問 淨りシアターの稼働率は。

答 ホールで年間62%、全国平均50%を上回っており、横ばいで推移している。

問 生物多様性保全推進支援事業は。

答 能勢の里山資源活用などを盛り込んだ本町の里山活力創造戦略を作成し、今後の事業展開に努めたい。

問 農林業施設災害の被害は。

答 農地42か所、林道4か所、施設3か所である。

問 本町が管理する道路、河川被害の進ちょく状況は。

答 道路167か所、河川158か所等で最終費用は、おおよそ道路は3億5千万円、河川は2億2千万円となる。繰り越し分は阪井峠を除き、年内完了予定である。

観光文化課：淨りシアターの今後の施設整備計画、自主事業の取組み、PRキャラクター、東郷観光案内所、能勢の郷の状況等。

地域振興課：新制度における人・農地プラン策定、新規就農支援、農地中間管理機構集積協力金、家畜伝染病対策、木の駅プロジェクト、獣害対策、国崎クリーンセンター負担金、火葬場の利用実績、環境フォーラム等。

地域整備課：町道除草作業の報償及び除草委託料、橋梁点検及び修繕、町営住宅撤去工事、合併浄化槽の設置状況等。

教育委員会関係(生涯教育課・学校教育課)

問 学校管理包括委託に対する問題点はなかったか。

答 特に、施設管理業務については、委託業者との連携に課題があった。

問 B&G プール再開等に当たってのPRは。

答 トイレ、温水シャワー、エアコンを改修し、リニューアルイベントを開催した。

問 英語教育推進事業について英語検定合格率は。

答 合格率は56%である。毎年、変動はあるが、すべての生徒に力がつくように取り組みたい。

生涯教育課：スクールバス運行委託、野間の大けやき保護増殖、生涯学習センター図書室を含む利用実績、通学路安全推進会議等。

学校教育課：児童生徒の教育費、部活動指導員促進事業、少子化に対応した活力ある学校推進事業、いじめ不登校の現状等。

続いて、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、国民健康保険診療所特別会計、農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計について、審議した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。